

朝 顔

朝顔の這ひまはりたる竹の垣
捨て植の朝顔二つ三つ咲きぬ
朝寝して朝顔の花しほみけり
青色も白色もよしあさがほの花

雲仙にて

谷川の流に蟬の聲まじる
鐵眼の回き心や一切経
沸り立つ硫黄のほひ朝の町
合歡の香に涼しき夢も結びけり
霧晴れて彼方の町にほの明り

秋立つ

秋立つやすき初穂二つ三つ
桔梗の花開きて秋の立ちにけり
秋立ちて星の光も澄みにけり

山井戸

山井戸の底に冷せし西瓜哉